

平成21年度 第1回松山地域協議会会議録(概要)

日 時 平成21年4月14日(火) 15:27~16:58

会 場 松山農村環境改善センター 視聴覚室

出席者

1号委員 齋藤 勝 佐藤 旭 今田 充代 阿部 茂 新館 壽美子
長堀 俊一 遠田 聡 小田 和夫 齋藤 尚 佐々木 亨
佐藤 修
2号委員 土田 迪子
3号委員 佐藤 洋子 木村 美津枝

酒田市長 阿部 寿一

松山総合支所 支所長 後藤 吉史 地域振興課長 須貝 彰
地域振興課主幹 難波 富也 市民福祉課長 大場 昭一
建設産業課長 川田 進

地域振興課 課長補佐兼地域振興係長 佐藤 直樹

調整主任 石川 春一 主任 佐藤 清彦 主事 乙坂 哲也

傍聴人 なし

議事日程

委嘱状交付

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 職員紹介
- 5 地域協議会について
- 6 議事
 - (1) 会長及び副会長の互選について
 - (2) その他の申し合わせ事項
- 7 意見交換
- 8 その他
- 9 閉 会

1 開会・・・進行を務める地域振興課長が開会する。

2 市長あいさつ

ただいま委嘱状を交付いたしました。ご多用と思いますが2年間よろしくお願ひしたい。地域の声の本庁に届きにくいのではないかと理由や地域振興を検討する場が必要なのではないかなどの理由で、合併時に地域協議会を設置して4年を経過した。松山地域の課題を本庁に伝えていただいたり、大きな役割を果たして来たと認識している。

合併も比較的順調に推移しているのではないかなと思っている。合併については、当初から、2段階で考えていた。前半の5年、後半の5年と分けて、最初の5年間は、違った自治体だったわけなので、制度についても地域特性に応じた一定の配慮は必要だと考えていた。1年では差は埋められない。単一の制度にしていく5年間ということで、水道料なども地域特性を勘案して統一してきた。

公民館をコミュニティ振興会にしようという課題も、幾多の困難もあったが統一されてきた。もう一つは、区長制度である。1市に5つの制度がある。区長報酬の定め方が全然違っている。これも前半の5年間で何とかしていかなければならない課題である。

合併特例債を使えるのは、合併から10年間だけである。交付税の特例措置も同じである。職員の人件費がやはり大きく、松山町時代に80名の職員がいたが、合併して人口11万5千人のまちとしてもまだ多い。残り5年間で、合併特例債を活用して課題を整理していきたい。制度の統一に向けて、最後のつめをしていかなければならない。今年度を合併総仕上げの一部分と次の時代につなげる1年と考えている。

統合保育園の整備も始まっているが、支所も整備して改善センターもきれいにした。Aコープがなくなるが、時代の流れの中で地域をどう元気にしていくかの議論を皆さんから語り合っただきたい。この協議会は、職員と皆さんが一体となってこの地域の振興に資するような施策などを考えて、運営して行く(考えていく)場にもしていただければと思う。地域として何ができるのかも、合わせて議論してほしい。時代の流れの中で少子高齢化、経済の低迷などあるが、この地域をどうして行くか夢を語る場にもしていただきたい。皆さんから汗を流して頂ければ、地域の皆さんからも理解していただけるような会の運営になっていくのではないかなと思う。

皆さんだけに負担をさせるつもりではない。この地域のために頑張っていただきたい。

3 委員紹介・・・事務局が各委員を紹介

4 職員紹介・・・職員が自己紹介

5 地域協議会について・・・資料に基づき事務局が説明の後質疑

6 議事・・・支所長が議長となり進行する。

(1) 会長及び副会長の互選について

議長 互選の方法は、どのような形で取りはからいよいか。前回は選考委員を立てさせていた
だき、そこで相談させていただいた。同じ方法で良いか。

委員 異議なし

須貝課長 6名の選考委員会を設置し選考した。

議長 それでよろしいかお諮りしたい。

委員 異議なし

議長 選考委員を、齋藤委員、佐藤委員、阿部委員、長堀委員、土田迪子委員、後藤支所長に
願う。

休憩（図書資料室で選考委員会を開催）

議長 選考委員会について、阿部委員より報告をお願いします。

阿部委員 選考会で協議した結果、会長に佐々木 亨委員、副会長に土田迪子委員を選任したい。

議長 今の報告について承認をいただきたい。

委員 異議なし

(2) その他申し合わせ事項について・・・事務局説明

須貝課長 会議録署名委員については、会長のほか名簿順番交代でお願いしたい。

佐々木会長 会議録署名委員を齋藤勝委員にお願いしたい。

7 意見交換

佐々木会長 こういふ議題をあげてほしいというものを課長に話をすればよいのか。

須貝課長 会長、副会長と相談のうえ、決めていきたい。

土田委員 新しく委員になられた方にお聞きしたいが、地域協議会をどのように見ていたか。

佐藤旭委員 協議会の中で話し合いをした形はわかるが、行政に反映した部分の形が見えない。
正直、推薦されたときはあまり乗り気でなかった。地域内における地域協議会の形が
見えない。支所長からも協議した内容を集約できる形であつたので、今年度は願
う。

佐々木会長 言いつ放し、聞きつ放しで終わらないようにしたい。

木村委員 地域協議会の会議録ということで市のホームページに公開されているが、皆さんは
見ているものか。「たより」には協議した内容のほんの一部しか載らないので、流れ
はわからないと思う。

長堀委員 今まで地域協議会で何を決めているのか見えないものだったので、委員に推薦されたときは乗り気にならなかった。一般の人は、地域協議会で協議していることがわからないと思う。

佐々木会長 「地域協議会だより」等のお知らせの方法を検討していかなければならないと思う。

須貝課長 今回は特にコミュニティ振興会からも委員として出ているので、この地域協議会で話しあわれた内容をコミュニティ振興会の方にも伝えていっていただければありがたい。

佐藤修委員 地域協議会でやっていることが、市民に伝わりにくい。広報を見ないのも悪いと思うが、いかに市民の関心を向けられるか、興味を持たせるかが大事だと思う。

新館委員 発言は個人の意見でもよいと言ったことが、各団体に戻ったときにしっかりと説明していけるようにしていきたい。もっと掘り下げて話した方がよいと思う部分もある。

佐々木会長 松山地区の市民に対する広報の場を、もっと工面したい。

今田委員 委員になって4年になった。庁舎も新しくなり、統合保育園も建設になる。こういう事項も地域協議会で話題になった。竣工式もしていないが（松山総合支所の新庁舎の開所式は12月22日に実施済み）、良い方向には向かっていると思う。松山地区の循環バスも話題にしたが、日本海総合病院まで乗り換えさえすれば行けるようになったので、委員になれば少しは成果があったかと思う。

佐藤洋子 この地域協議会は、他地区と同じ日程で開催するのか。

須貝課長 今回は、委嘱状を渡す関係もあったので日程を一緒にしたが、次回からは日程は異なると思う。

佐藤洋子 日程が違うのであれば、今回のように少しの時間でも良いので、市長の生の声を聞く機会を設けてほしい。

木村委員 今までの協議会の中でも話があったが、範囲が広すぎて年数回の会議ではまとまりがない。今年も地域づくり予算の話から始まって毎年同じ形だが、分野を絞れないものか。決まった結果が出ないままで、協議する範囲が広いように感じる。分野ごと分かれて協議したらどうかということも出たが、変わりなくきている。

今田委員 分野ごと分かれてしまうと人数が少なくなってしまって、色々な意見が出ない部分もあると思う。

佐藤旭委員 意見をつめて、具体的にまとめてという話ではないように思う。具体的に1つずつつめてとなると、話す方も難しくなる。ただ、協議会で出た話題をこういう形で市政に反映させていくのだというまとめがあれば、市民の方々にもわかりやすいと思う。

佐々木会長 絞った方がよい部分と広げた方がよい部分とあると思うが、私もわからないので助言をいただきたい。

長堀委員 行政の方も色々な意見を聞きたいということではないか。

今田委員 地域協議会は何かを決定するといった場ではないと考える。

須貝課長 みなさんから色々な意見を頂いて考える分野が広がってしまう部分もあると思う。会の運営をどのようにしていったら良いか。テーマをある程度絞った方が良いか。

阿部委員 課題追求の方法になってくると思うが、この方法でいきたいというような形はない。半分以上決まっていることに意見を求められても、意見を言うことは出来ないだろう。地域課題の方向性があるのかどうか問題点だと思う。どういう方向に進めば住民の人が喜ぶかという視点で話をするのか、これからこういうことをしたいのだが、どういう方法がよいのかという視点で話をするのかだと思う。

小田委員 協議会では具体的にはこういうものを入れれば良くなるという考えを出すだけでも良いと思う。この会に市長が出たら良いだろうが、市長の声に地域の人たちの具体的な意見も出して行けばより良くなると思う。それがこの地域協議会の場だと思う。

土田委員 八幡地区、平田地区とも小中学校の再編が行われている。松山地区にも近々必ず来る問題だと思うが、案件が出される前にどう対応していくかを話し合っていくことも良いと思う。

佐々木会長 2年前に区長会の正副会長が市長と面談する機会があったが、松中は専門教科以外の人（教諭）が何人が担当している。飛鳥中との統合も視野に入れて行かなければいけないのではないかと市長にも話したことがある。学区再編委員会では松山の統合は問題になっていないそうである。21年度予算で松小が耐震診断の対象になっているが、松小の耐震診断はだめだという結果が出るのはわかっている話で、そうなれば新しくする方向に話がなると思う。酒田市教育委員会の方針で複式学級を作らないという方針が大前提になっているが、地見小は現在、複式学級が存在している中で、山寺、松嶺、地見興屋で何らかの話があるのではないかと思う。

後藤支所長 これまでの地域協議会の中で、課題の絞り込みと広く見ていく中で意見をもらうことが大切だと考える。ここ2～3年の松山の課題でにぎわいづくりもあるのだが、小中学校をどうするかが課題であることは間違いないと思う。松小は教室の補強をしても施設の寿命が延びるわけではなく、耐震強化されるだけである。予測される将来に対する考え方を地域協議会で議論していくことも大事なことである。中学の専門教諭がいなくなる問題は、直近の問題である。何を優先させていくかという議論を、地域協議会で大事にしていく必要があるのかなと思う。ただ、それだけを話して行くと1年間では煮詰まらないと思う。今提供されている情報がどうであるか、課題の整理、取組み方などを分けて取り組むのも一つではないかなと思う。会長からあった課題については、委員の方からつめていただきたい。我々が取れる情報で提供できる情報は出していく。

齋藤委員 今現在発行されている地域協議会だよりの色が水色で見づらいので、検討していただきたい。あと文字の大きさも考慮してほしい。

木村委員 A4版の両面だと2、3の話題しか話していないように感じる。箇条書きでも良いのでもっと協議した内容を情報提供出来ないものか。

須貝課長 今後見直していきたいと思う。

佐々木会長 今までの会議のあり方や広報紙のことも含めて意見があった。次回からはさらにより良いものにしていきたいと思う。時間となったので、本日はこれで閉会する。

8 閉会